

II 校内研修計画

1 研究主題

《 研究主題 》

感じ・認め・つなぎ、学び合う子どもの育成

—情報活用能力を生かしICTを効果的に活用した授業改善を通して—

《 学校教育目標 》

自ら考え めあてにむかってチャレンジする 子どもの育成

《 めざす児童像 》

- 自ら考え、進んで学習できる子
- 元気に明るく挨拶や返事ができ、当たり前前が当たり前前のできる子
- かけがえのない命を大切に、相手の気持ちを考え、協力して行動できる子

2 研究主題設定の理由

(1) 社会的な背景から

今日、児童を取り巻く社会は、情報化やグローバル化が加速度的に進み、それに伴って、人々の価値観や生き方が多様化し、急激な変化を続けている。さらに、今後、グローバル化が進展する中で、様々な文化や価値観を背景とする人々と相互に尊重し合いながら生きることや、人間の幸福と社会の発展の調和的な実現を図ることが一層重要な課題となる。また、このような予測困難な時代において、未来の社会を予見しながら問題を解決していくためには、学校教育で得た知識だけでなく、それ以降に獲得する新たな情報や知識を基盤に新しい答えや価値観を生み出すことのできる資質・能力が必要とされている。

このように主体的に学びに挑戦し続ける子どもを育てるためには、一層きめ細かく子どもの実態を把握し、授業に臨むことが大切である。また、子どもたちが主体となって興味や関心に応じた課題を深める価値のある課題を設定し、多様性や協働性を発揮し課題解決に取り組むとともに、個に応じた学びを提供し、一人一人が成果を実感できるような授業改善が求められている。GIGAスクール構想のもと、一人一台のタブレット環境が整った今、ICTを効果的に活用していくことで、今日的な教育課題の解決につながると考えられる。

(2) 児童の実態・学校課題から

本校の主な教育課題は学力の向上と、生徒指導・特別支援教育の充実である。小規模校で1学年20名程度の児童数ではあるが、学力の二極化と特別な支援を必要とする児童の増加が顕著に見られ、一人一人の学びを保障する観点からも、指導方法の工夫、開発が求められている。

本校では、昨年度まで香川県小学校教育研究会道徳部会の研究を通して「感じ、認め、つなぎ」学習スタイルを模索し、各教科においても定着を図る工夫を行い、実践を続けてきた。これまでの実践を通して、課題であった「自己肯定感」の高まりや「将来の夢や目標をもつこと」に関して改善が見られた。また、授業の内容がどの程度わかりますか、「授業が楽しいと思いますか」の質問に対して肯定的に回答した児童の割合が県平均を大きく上回るものの、「勉強が好きですか」との質問への回答では、好きの割合が低い結果であった。このことから、授業は楽しくて分かるが、勉強はそれほど好きではない、つまり主体的に学ぶ児童が育っていないという課題が見えてきた。

高室地区は、地域の方々による学校支援組織が構築され、世代間交流活動も盛んに行われており、地域で子どもたちを育てようというあたたかく、強い「志」に支えられている。また、保護者は、学校や児童の活動に関心が高く、学校行事、PTA活動、子ども会活動等にも積極的に参加している。

本年度は教員の7割以上がICT機器に慣れた若年層であり、ベテラン教員と協力して新しい着想での授業作りに挑むことができる機会を迎えている。ICT環境の整備が完了した今、情報活用能力を系統的に育むカリキュラムを作成し、ICTを効果的に活用した授業改善に取り組むことで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的に学び挑戦する子どもを育成することができると思う。

3 研究内容与方法

(1) 研究の視点

視点1 情報活用能力を系統的に育むカリキュラムの作成と指導の方法等について

- ① 情報活用能力を育成するための指導計画、教材、指導方法の工夫
- ② 問題解決・探究における情報活用の工夫
- ③ プログラミング教育の推進
- ④ 情報モラル教育の推進

視点2 教科等の学習のねらいを達成するICTを効果的に活用した授業の工夫

- ① ICT の活用による意欲・関心を高める教材との出合わせ方の工夫
- ② ICT の活用による「指導の個別化」「学習の個性化」を促進する工夫
- ③ ICT の活用による授業中の発表や話し合い等、協働学習を促進する工夫
- ④ ICT の活用による授業中や授業後の学習評価の工夫

視点3 ICT活用の日常化

- ① ICT の活用による家庭学習等、個別学習を支える工夫
- ② ICT の活用による校務の効率化の工夫
- ③ 教職員のICTスキル向上の研修の推進

(2) 研究方法

校内研修 研究授業 4本
香川県教育委員会義務教育課の指導を受ける。
香川県教育センターの協力校として指導を受ける。

要請訪問
香川県教育委員会義務教育課の指導を受ける。

個人研修
毎週月曜日の個人研修日を活用して、個人研修、相互研修を行う。
オンラインによるセミナー等へ参加する。

若年研修
毎週月曜日の個人研修日を活用して、個人研修、相互研修を行う。
授業空き時間を利用しての相互授業参観等自主研修に取り組む。

4 研究成果の発表

11月30日 授業公開を行う

12月26日 さぬきの教育づくり発表会